

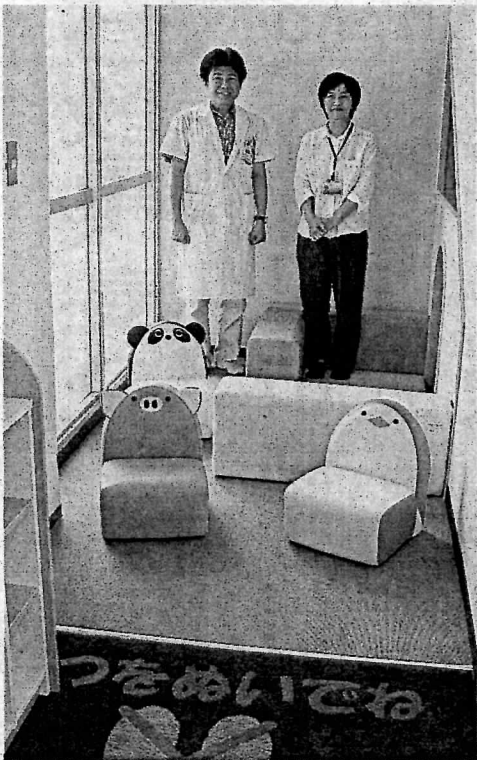
# 思春期の心をケア

## 琉球病院が新外来

思春期に特有の心の揺らぎや病の兆しを見つけ、早い相談や診療につなげようと、琉球病院(金武町)は「思春期・青年期こころのリスク外来」を開いた。ホームページを作り、本人や家族が心の状態を確かめられるチェックリストを載せた。18歳以下の面談件数が急増しており「相談を通じ一過性が病の前兆かを見極め、病気の場合には慢性化を防ぎたい」としている。

(新里健)

精神疾患発症リスクが高  
270〜280件に上る。  
開設当初は20件以下だった  
状態の若者へのケアに特  
化した外来は、全国でもま  
だ始まったばかりという。  
琉球病院にある4診療科  
のうち、18歳以下が対象の  
「こども心療科」の面談件  
数は最も多く、月間で延べ  
270〜280件に上る。



## 早期対応 治療につなぐ

- \*チェックシート\***
- 人が自分のことを噂している、悪口を言っている
  - 今までみえなかったふしぎなものが見える
  - 空耳のようなものが聞こえる、周りに人がいないのに話し声が聞こえる
  - 自分の気持ちや行動がまとまらなくなり、コントロールできない
  - 誰かに操られている感じがする
  - 死にたい気持ちが強い
  - イライラして落ち着かない
  - 人の視線が気になる
  - 自分の居場所がないと感じる
  - みんなが自分を嫌っている気がする
  - 何もやる気がでない
  - 自分も人も信用できない
  - 漠然とした不安がある
  - 人と話をするのが面倒で避けてしまう

琉球病院のホームページから

丁寧なケアが必要な上、統合失調症を患う年齢にも差しかかる。

新外来は15〜18歳を中心に、35歳までを対象とする。児童精神科医と一般の精神科医、臨床心理士、作業療法士、精神保健福祉士など他職種が連携して相談、診療する。問診票も思春期向けに新しくした。

ホームページには「人が自分のことを噂している」「今までみえなかったふしぎなものが見える」「死にたい気持ちが強い」など、本人や家族が簡単にできる

14項目のチェックリストを掲載。複数当てはまるなど気になる点があれば、早めに相談するよう呼び掛けている。相談は予約制で、保険診療で受けられる。

琉球病院は新外来の開設と同時に、子ども向けの待合室とプレールームも新たに設けた。絵本やおもちゃ、動物をあしらったソファを備え、カラフルで明るい雰囲気だ。今後、入り口も大人用と別に設ける。

村上優院長は「思春期の心のケアや治療のニーズは年々高まっている。本人も家族も気軽に相談してほしい」と話す。

琉球病院が新設した子ども用の外来待合室とスタッフ。明るい雰囲気、遊べるスペースもある。問い合わせは地域医療連携室、電話098(9608)7370。